

【概要】

電波の反射を利用した「山岳・雪崩等遭難者電波探索システム」について検討を行い、山岳・雪崩遭難の発生時における、一刻を争う救難救助活動の円滑化及び迅速化と、捜索関係者の二重遭難回避と負担軽減を図り、周波数を有効利用するための方策、技術的条件の策定に資することを目的に行う。

【主な調査検討項目】

- ・電波反射による無線探索の有用性の検証
- ・周波数帯を共用する又は隣接する他のシステムとの共用条件
- ・改正すべき技術基準の検討

利用シーン等

【冬のレジャー】

スキー場等でも遭難の危険性はある。

【遭難者】

スキー場や山道からはぐれてしまった場合等。
※ スキーウェアやリュックに電波反射装置等が付いている

【季節に関わらず】

雪山、山菜採集、トレッキング等、山に関するレジャー人口は増加傾向

【雪崩】

雪崩に埋もれてしまった場合等

山岳

捜索者が持つ探索装置により、雪崩に埋もれた人の位置を確認することが可能

ゲレンデ

捜索者が持つ探索装置により、人の位置を確認することが可能

捜索者

捜索者

